

「我が社の魅力発信、PR」

株式会社 家具の八木沢 茨城県水戸市

日本の森の木々から作られた家具が
毎日の暮らしに溶け込み
森を元気にする

日本の森で育った木々の手触り、ぬくもり、やさしさ、
自然の色など木々本来の美しさを感じてもらえるような
家具をつくっています。

幸せな暮らしのピース
になるような家具をク
ラフトマンシップを持
って作っています！



仕事内容 ” ここが魅力” ”

木が徐々に『家具』として形になっていく。
そこにおもしろさを感じる。

県産材のヒノキの無垢板を使用した
イスやダイニングテーブル等の家庭用
家具だけではなく、都心のオフィスビ
ルに設置する会議テーブルやクローク、
飲食店のディスプレイ棚やカウンター
といった造作家具など、製作内容は多
岐にわたります。

また、工場直営の国産材家具ブラン
ドを発信していきたいと考え、自社店
舗を整備中です。

【職人の声】

無垢材の仕事が好きです。木を削って
る感じが良い。
今は新しい商品開発のモックアップ製
作を任されています。デザインによっ
ては今までやっていた方法が使えな
かったりする事も。日々試行錯誤しな
がらより良い家具が作れるように勉強
中です。



我が社の自慢あれこれ” こんなこと！、あんなこと！”

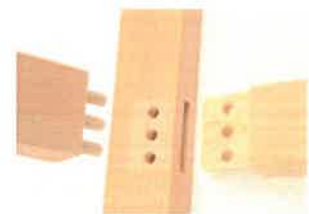
NCルーター、旋盤、プレス場、塗装場など
すべて工場内でワンストップ製作！

コンピュータ制御の最新の機械も使
いますが、それもあくまで道具の一つ。
職人の手仕事があるからこそ木肌のぬ
くもりや、その木が持っていた個性、
より高い耐久性が生まれると考えてい
ます。長年培ってきた木工技術を生か
しながら、日々家具の製作をしていま
す。

・椅子の接合部の加工には、伝統的な
寺社建築でも使用される『ほぞ組継加
工』を使用。（写真上）

・テーブルの天板には高度な『巾接
（はばはぎ）加工』の技術によって風
合いや強度を損なわず、リーズナブル
な価格で提供できるようになっていま
す。

・接着面積が通常の約2倍となること
で、接合部のズレを無くすと共に、材
のねじれ抑制効果や耐荷重強度を高め
ることが出来る『フィンガージョイント』
（写真下）



写真上：ほぞ組継加工



写真下：フィンガージョイント

本事業に参加して、事業の成果等

新人技能者人材育成プログラムを基にOJTを行いました。企業評価だけではなく、自己評価をつけることで訓練指導者が訓練生の理解度や、訓練の進み具合を随時チェックしながら教育をする事が出来ました。

また、月に一回技能士会の方と一緒に面談を行うことで、訓練生の仕事に対する考え方などを改めて確認することが出来ました。

合同研修会では、社会人としてのマナーや考え方の講習なども行って頂きました。なかなか会社では教える時間が取れないので、社会経験のない訓練生にとって、仕事に対する責任感や行動力を学ぶいい機会になり、その後の働き方にも変化が見られました。そして、資格取得という明確な目標を持つことにより、日々の訓練へのモチベーションを保つことが出来たと思います。



今後の課題や取り組み

森林が国土の60%を占め、季節ごとに木々の彩りがある日本は、森の国と言えます。

森の木々は、沢山の動植物の生態環境を支え、空気や水の浄化作用も担っています。

私たちの暮らしを古来より支えてきてくれたのも、豊かな森の木々たちでした。

建物や家具や農具となり、生活の道具の多くが木々たちによって作られてきました。

いま日本では心の豊かさを大切にする時代になり、古来より珍重されてきたスギやヒノキの素晴らしさが見直されています。ゆっくり時間をかけて育った木々で建てられた家は、優れた耐久性も備えています。

日本の風土に最も馴染む日本の木々の良さを今はっきりと見直し、放置された多くの森林を再び整備していくことは、日本の伝統文化の継承と環境問題に対して、多くの恩恵をもたらしてくれるはずです。

八木沢木工では日本の森で育った木々の手触り、ぬくもり、やさしさ、自然の色など木々本来の美しさを感じてもらえるような家具をつくっています。

日本の森の木々でつくられた家具が、毎日の暮らしに溶け込むことで、日本の森を元気にすることを目指して。

人材の育成について

若手や優秀な人材が長期的に働いてくれることは、企業の人的コストの効率を向上させるだけではなく、企業の強みになると考えています。採用後の継続的な社員教育や、資格取得者への手当・支援などを行うことで、社員のモチベーションが維持され、仕事の効率化へとつながると考えています。

会社のあゆみ

明治初年に初代が現在地において家具指物製造業を開始。その後、4代目が株式会社家具の八木沢を設立。主に学校家具の販売・製造を行っていたが、現在の5代目八木沢 章が代表取締役に就任後はオフィスの造作家具や県産材を使った家具製作を中心に活動中。

茨城県水戸市五軒町3-3-66

電話029-224-2468

(代表)

<https://www.yagisawamokko.jp/>

